

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所なないろ		
○保護者評価実施期間	08年1月9日		08年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	08年1月9日		08年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	08年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援を中心とした支援	個別支援を通じて一人ひとりの特性や課題を丁寧に把握し、感覚統合、コグトレ、SST、愛着形成等、活動を柔軟に選択しながら利用者の成長に合わせて集中的に支援している。安心して支援を受けられる環境の中での発達促進を目指している。	研修等を通し、感覚統合、コグトレ、SST、愛着形成等の支援を強化し、それぞれの子どもに最適な支援方法を見極めていきます。
2	・なないろこども園との密な連携	なないろこども園やなないろ学童の活動に参加するなど、子どもたちが集団の中で過ごす機会を設け、多様な経験を通じて成長できるよう支援している。こども園の行事や活動内容に合わせて支援を柔軟に調整したり、スムーズな情報共有により一貫した支援を行うことができています。	情報共有をより効率化し、支援の一貫性を高めています。
3	・保護者との密な連絡体制	日々の支援の様子や気づきを連絡アプリ(成長療育支援システム)を通じて丁寧に共有することで、保護者が子どもの成長をリアルタイムで把握できる環境を整えている。保護者からの相談にも迅速に対応し、親子ふれあい参観の機会を通じて家庭と事業所が一体となって支援に取り組めるよう努めている。	連絡アプリ(成長療育支援システム)をより活用しやすいツールにするために、保護者への操作説明やフォローを充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日常支援の中で、地域のイベントや外部資源を活用した取り組みが十分に組み込まれていない状況。	事業所の敷地や設備面の都合上、地域活動を取り入れる環境が整っていない。	保護者への情報提供や地域イベントの紹介等、地域との繋がりを持ちやすい環境づくりを支援していきます。
2	送迎・訪問範囲が限定的であるため、距離の関係で事業所の利用を希望される家庭のニーズに十分に答えられていない。	限られた職員数や稼働時間の中で送迎・訪問の調整をしているため。	保護者と相談しながら時間調整を行い、家族の負担を軽減する支援方法を引き続き検討していきます。
3			